

学校公開・みなみ集会への参加ありがとうございました。

土曜授業（学校公開）およびみなみ集会には、ご多用の中、多数の保護者の皆様等に本校の教育活動をご覧いただきました。みなみ集会では、目を輝かせ主体的に活動する姿や、仲間と一致団結する姿等をご覧いただけたかと存じます。準備等では、保護者の方にも多大なご協力いただいたことと存じます。ありがとうございました。土曜授業では、子供たちの挨拶の様子、廊下での過ごし方、授業態度等ご意見いただきました。今後の指導で改善を図ってまいります。

☆エコライフチェックの取組に

ご協力ありがとうございます

練馬区では、平成 18 年度から、エコライフチェック事業「STOP!地球温暖化 ねりま大作戦」を展開しています。実施開始年度と昨年度の二酸化炭素削減量を比較すると、次に大きな成果をあげています。

平成 18 年度の二酸化炭素削減量は 0. 9 1 4 t

↓ (年々削減量に増減はあるものの)

平成 27 年度の二酸化炭素削減量は 3. 2 6 t

一人ひとりの小さな環境配慮のための行動の積み重ねが地球温暖化の抑制に役立ちます。オリンピック・パラリンピック教育の学習テーマの一つに「環境」があります。私たちが将来にわたって安心して生活できる持続可能な社会の実現に向けて、身近なところからできる環境保全活動をとらして、環境を守ることへの意識を高めていきます。

☆11月ふれあい月間の取組について

11 月は、「いじめ防止強化月間」および児童虐待防止推進月間となります。

本校では、挨拶運動、言葉遣い旬間、「善悪の判断」について考える徳徳の時間の実践、いじめは絶対に許さないという決意を表す「いじめ撲滅宣言」の作成、いじめに関するアンケート調査などを通して、「いじめはしない、見過ごさない」気持ちや、温かい人間関係に関する意識を高めてまいります。また、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員による巡回や助言等も充実させていき、学校として組織的な取組を推進しています。

いじめ防止対策推進法では、いじめの定義は次のとおりです。

児童生徒に対して、一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの。（一部抜粋）

児童が苦痛を感じた時点で、いじめになるという認識をもたなければならぬということです。校内では、上記の取組を充実させ、いじめの未然防止・いじめの早期発見に努めてまいります。

☆東京ユースボランティア・クリーン週間

オリンピック・パラリンピック教育で育てたい資質の一つに「ボランティア・マインド」の育成があります。クリーン週間では、従来から実施している落ち葉拾いや校内美化活動を、より一層児童の気付きや主体性を大切に組みこむことで、児童の「ボランティア・マインド」を引き出せるよう意識を改革して実施していく所存です。

☆学芸会のお知らせ

実施日 12月2日（金）児童鑑賞日

12月3日（土）保護者鑑賞日

詳細および参観上の諸注意等について、後日改めてお知らせいたします。

なお、学芸会実施にあたり、体育館フロアにひな壇等の設置や準備が始まります。その関係で、**開放団体への貸出は、11月14日から半面のみ**の開放です。さらに11月21日から12月3日の片付けが終了するまで体育館開放は行いません。よろしくお願いたします。

☆小中一貫教育の取組について

「ふれ合い、学びの連続性における児童・生徒の育成—小中9年間を見通した教育活動を通して—」

これまで、「南が丘小での授業研究」「挨拶運動」や「授業・部活動体験」、「生徒会による学校説明会」等の活動を行ってまいりました。10月には6年生が吹奏楽の演奏見学、5年生が合唱の見学を行いました。本日（31日）は、本校にて8教科・領域で公開授業し、小中9年間の学びの連続性を実現するための協議会を実施しています。11月17日（木）にも同様に南が丘中学校で授業研究会を実施します。挨拶週間として、南が丘中学校の生徒が来校し児童と一緒に「挨拶運動」を行います。今後も南が丘小学校・南が丘中学校と連携し、小中一貫教育を推進してまいります。

☆みなみ学級での「交流及び共同学習」

みなみ学級主任 飯塚 剛

みなみ学級が開設され、はや、7年目を迎えました。開設当時から通常学級の児童や教員からも愛されているみなみ学級の児童との「交流及び共同学習」は大変充実しています。

2学期には、軽井沢移動教室（6年）・遠足（1～4年）・みなみ集会（各学年）等、様々な場面で通常学級の班活動を一緒に活動しました。参加しているみなみ学級の児童の輝く瞳がその充実ぶりを物語っていると思います。また、教科学習の場面でも、児童の課題に応じて、体育・算数・音楽等に参加している児童もいます。「交流及び共同学習」は、みなみ学級で培った力を通常学級に入ってからさらに確かなものにしていくためにも、とても大切な場面です。

児童の「主体性」と「社会性」の向上を目指して、これからも推進してまいります。

☆みなみ学級への学校生活臨時支援員の配置

9月より牧野泰典支援員、10月より宮島和樹支援員が着任しました。よろしくお願いたします。